

<その他、取組に特徴のある事例>

## ○共同取組活動を通じた地域のつながりの再構築

### 1. 集落協定の概要

市町村・協定名	静岡県伊豆市湯ヶ島 <small>いずしゆがしま</small> 長野 <small>ながの</small>			
協定面積 9.0ha	田 (100%)	畑 (—%)	草地	採草放牧地
	米	—	—	—
交付金額 152万円	個人配分			0%
	共同取組活動 (100%)	農用地の維持管理費		66%
		農道の維持管理・補修等		31%
		役員報酬		3%
協定参加者	農業者 38人 (うち非農家3人)			開始:平成22年度

### 2. 取組に至る経緯

当集落は、第1期対策時に集落協定を締結したが、第2期対策では役員のなり手がなく協定締結に至らなかった。しかし、担い手の高齢化が進む中、農業生産活動等への影響が懸念され、また、かつての地域のつながりも希薄になってきたため、これら状況に危機感を持った人々が中心となり、集落で話し合いを重ねた結果、魅力ある地域づくりを目指し、第3期対策において改めて協定締結に至った。

### 3. 取組の内容

当集落は、水路や農道等の維持管理活動を主として、遊休農地となっていた田に共同取組活動でソバを播き、良好な景観を形成させる取組みを実施している。更に、これを収穫し、集落協定参加者だけでなく、地域の女性や子ども達も参加してソバ打ちをしながら、農業の大切さや収穫の喜びを改めて学び、地域のふれあいやつながりを高める活動も考えている。

また、担い手の高齢化が進む中、共同取組活動を通じて若者にも農業生産活動を経験させ、農業の重要さや農地を守っていくことの大切さを認識してもらい、後継者の確保を図っていく。



【集落の様子：ソバ播種前の遊休農地の草刈】



【ソバの収穫作業】

### [集落の将来像]

共同取組活動を通じて農作業の共同化を推進し、個々の負担を減らして持続可能な農業生産活動の実現・地域が一体となった活力のある集落を目指す。



### [将来像を実現するための活動目標]

- ・水路、農道等の草刈、清掃、補修の実施
- ・休耕田へ景観作物の作付け

### [活 動 内 容]

#### 農業生産活動等

農地の耕作・管理 (田 9ha)
個別対応

水路・農道の管理
・水路 年2回 清掃、草刈り
・道路 年2回 草刈
・水路補修 随時
共同取組活動

農地法面の点検 (随時)
共同取組活動

#### 多面的機能増進活動

景観作物の作付け (休耕田にソバを0.2ha作付け、地域の女性や子ども達も参加して収穫、ソバ打ちまで行う。)
共同取組活動

## 4. 今後の課題等

協定内農用地には日本の棚田百選に選ばれた「荒原の棚田」があり、よく知られた写真スポットになっている。今後はこのような恵まれた資源を生かし、都会の学生に農業体験をさせ、地元農家との交流を深める計画や棚田で収穫した米をブランド米として売り込んだり、ソバの栽培が軌道に乗れば集落以外の人々へ販売したりできればという希望を持っている。

しかし、まだ取組は始まったばかりであり、鳥獣の被害や農家の高齢化も加速の一途のため、集落の若い世代に共同取組活動を通じて農業へのやりがいを感じてもらい、若者の農業離れに歯止めをかけ、若者から新たな取組への提案が出るような活力ある集落を目指していきたい。